

彩色P Cカーテンウォール

P Cカーテンウォールの新しい仕上げに「彩色P Cカーテンウォール」をご採用下さい。

今日のP Cカーテンウォールの表面仕上げはタイル、本石、塗装が主流ですが、当社の彩色P Cカーテンウォールはコンクリートそのものに様々な組合せのテクスチャーを加えることで多種多様な表情、質感により独特の意匠を表現させることができます。

彩色P Cカーテンウォールの特徴

彩色P Cカーテンウォールはコンクリートそのものに着色や研磨、サンドブラスト、洗い出しなどの表面加工技術を組合せてさまざまな表面に仕上げることができます。配合する骨材は各種取り揃えており、オリジナルなデザインをご提供致します。

施工実績一例
1986年(S61年)施工
札幌芸術の森 芸術センター棟新築工事
研磨仕上げ（ダイヤモンドカット仕上げ）



マトリックス割肌仕上げ+研磨仕上げ（ダイヤモンドカット仕上げ）を施工。



施工後、25年以上経過も凍結融解作用などの影響もなく、コンクリートは健全な状態で維持されています。



コンクリート研磨加工面
色彩のある骨材が特徴的です。

拡大



【色調選定】

コンクリートそのものを着色しベースとなる色を決定します。
また、着色顔料は添加量を変えることで色の濃淡を表現することができます。
無機顔料をコンクリートに練り込むことで風雨などによる変色や褪色を最小限にします。



白色顔料ベース



黄色顔料ベース



赤色顔料ベース



無添加ベース

【表面加工種類選定】

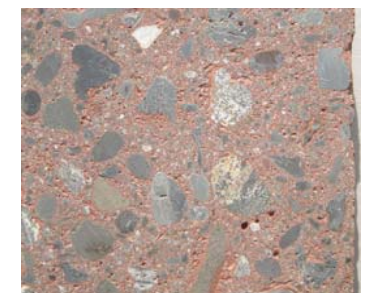
骨材、ベースカラー、表面加工の組合せをご選択できます。



白色顔料+研磨



黄色顔料+研磨



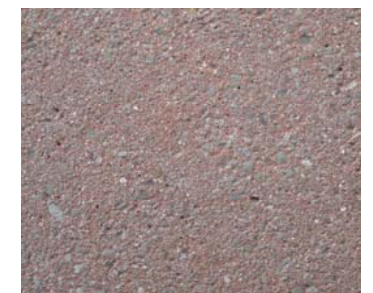
赤色顔料+研磨



白色顔料+サンドブラスト1mm



黄色顔料+サンドブラスト1mm



赤色顔料+サンドブラスト1mm



白色顔料+サンドブラスト3mm



黄色顔料+サンドブラスト3mm



赤色顔料+サンドブラスト3mm

【安全性と品質】

表面側のコンクリートと母材コンクリートを2層に分けて製作する場合は打ち継ぎ方法や、打ち継ぎ時間管理の難しさがあり一体性が失われる危険性があります。
当社の彩色P Cカーテンウォールは母材コンクリートそのものに着色や表面加工を施しますので安定した品質の製品をご提供できます。
また、過去の施工事例のように厳しい気象条件地域の寒冷地においても優れた耐久性を発揮していますので、ご安心してご採用下さい。